



公開日:

2023年9月

ArcGIS AllSource 実装ガイド

組織に ArcGIS AllSource を移行する際の必須タスク



タスクのチェックリスト

タスク	完了
1. ArcGIS AllSource	<input type="checkbox"/>
2. ArcGIS AllSource の入手	<input type="checkbox"/>
3. ArcGIS Online の設定	<input type="checkbox"/>
4. ArcGIS AllSource の割り当て	<input type="checkbox"/>
5. ダウンロードとインストール	<input type="checkbox"/>
6. ガイド付きの学習演習	<input type="checkbox"/>
7. 参考資料	<input type="checkbox"/>

1. ArcGIS AllSource

ArcGIS AllSource は Esri のインテリジェンス アプリケーションです。これは、国家機関や民間機関、商業組織、または法執行機関で働くインテリジェンス アナリストのワークフローと職務に焦点を当てたデスクトップ アプリケーションです。

ArcGIS AllSource を使用したデータの調査と視覚化、脅威の追跡、実用的な情報の配布をアナリストが行う前に、ArcGIS AllSource を設定する必要があります。この実装ガイドは、必須のタスクを取り上げ、ベスト プラクティスを紹介することでプロセスをスムーズに進められる内容になっています。

アクションナブル インテリジェンスへの対処

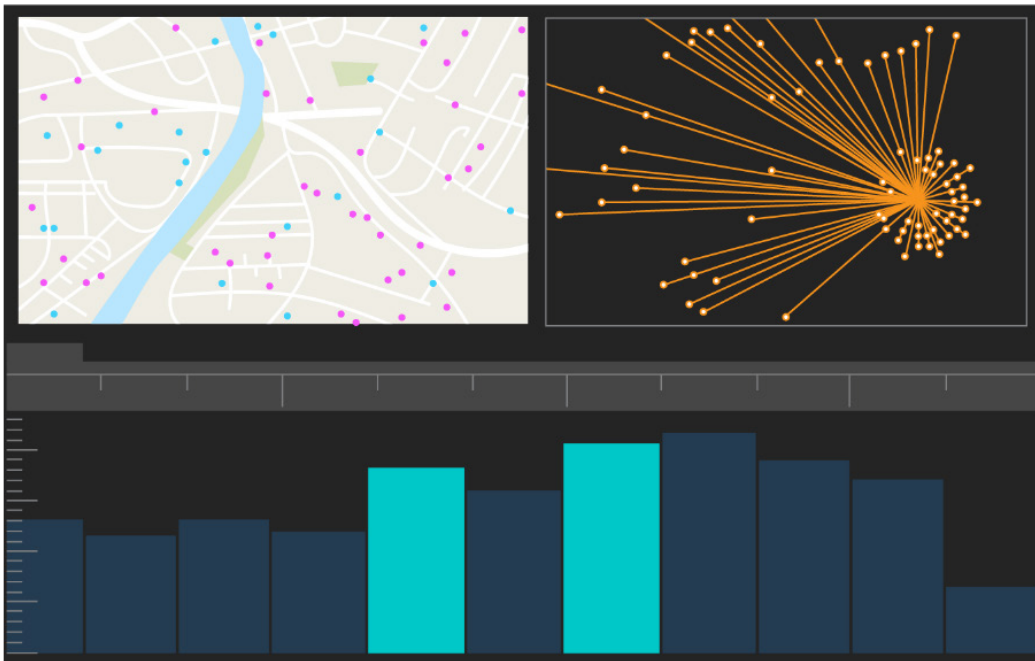
ArcGIS AllSource の対象ユーザーは軍事活動や企業の機密保持などに関わるインテリジェンスアナリストです。ArcGIS AllSource はインテリジェンス分野に特化しており、エンドツーエンドの脅威評価を可能にしながら、ネットワーク接続環境とネットワーク非接続環境の両方をサポートします。ArcGIS AllSource は以下を提供します。

- 合理化されたインテリジェンス エクスペリエンス: 使い勝手と効率性に優れたユーザーインターフェイスとツール
- 視覚化されたデータ: リンク チャートやタイムラインなどのツール、および非地理空間情報に隠されているデータを視覚化する Locate XT
- 接続: 接続環境と非接続環境の両方をサポートします。
- 時空間解析: 時間と空間の両方に関連するデータの分析を可能にする高度な手法

2. ArcGIS AllSource の入手

はじめに、お使いのシステムが [ArcGIS のシステム要件](#) を満たしていることを確認します。ArcGIS AllSource のシステム要件は ArcGIS Pro と同じです。

登録方法の詳細とサポートについては、[Esri カスタマー サービス](#) にお問い合わせください。



ArcGIS AllSource のユーザー インターフェイス

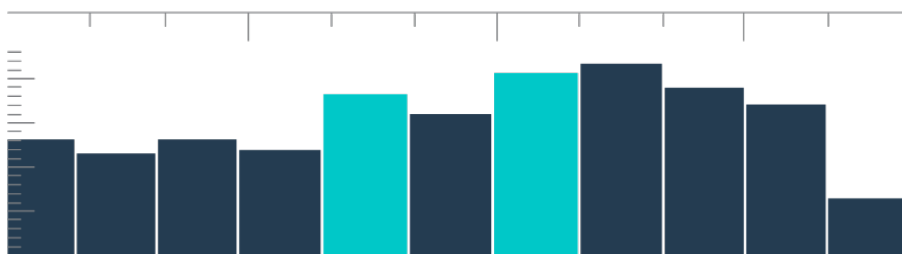
3. ArcGIS Online の設定

ArcGIS AllSource をインストールする前に、ArcGIS Online か ArcGIS Enterprise の組織を設定することを検討してください。ArcGIS Online には、チームメンバーのコラボレーションを促進するポータルが用意されています。ポータルではデータの共有とデータへのアクセス権の付与が可能で、コンテンツもポータルで作成します。このポータル接続により、ArcGIS AllSource ではクラウドベースのコラボレーションを実現しています。ArcGIS Online の詳しい設定方法の詳細については、『[ArcGIS Online 実装ガイド](#)』をご参照ください。

ArcGIS Enterprise にもポータル接続がありますが、組織の IT インフラストラクチャ内でのみ使用できます。組織にこれらの要件が存在する場合は、[ArcGIS Enterprise の詳細](#)をご参照ください。

ヒント

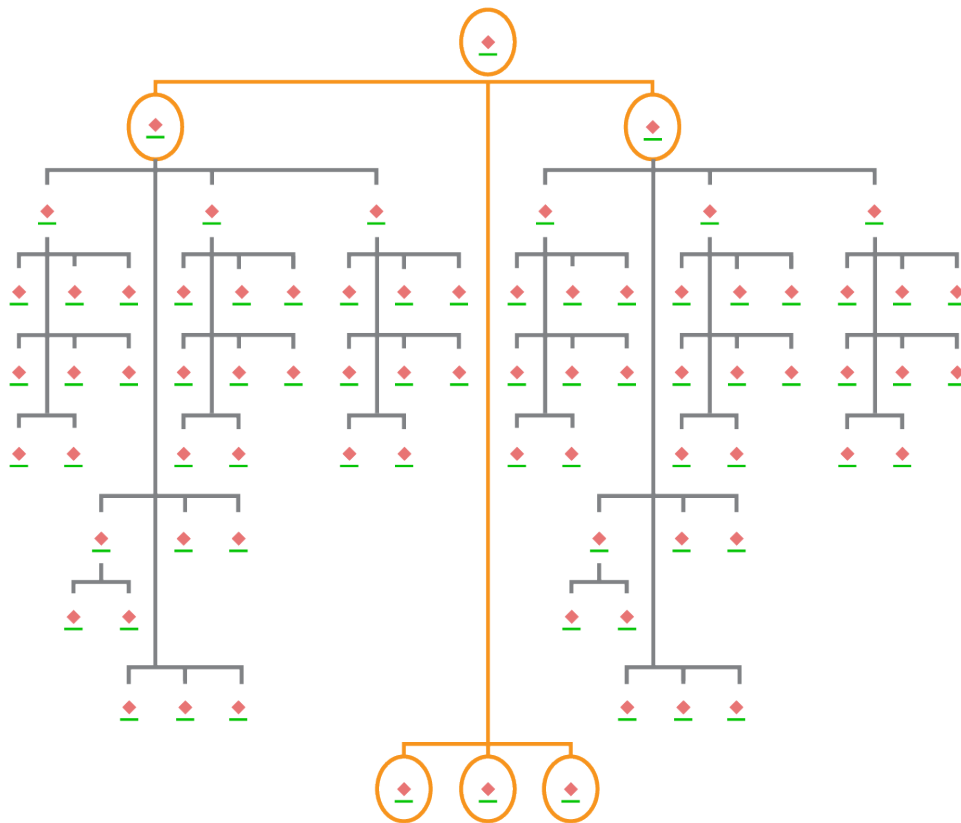
- Esri アクセスの有効化: メンバーが Esri トレーニング、Esri サポート、Esri コミュニティ、My Esri などのサイトにアクセスできるようにする場合は、[Esri アクセス](#)を有効にする必要があります。
- ArcGIS Online へのアクセス: ArcGIS Online にはマッピング、分析、共有に関連するさまざまな機能が用意されています。詳細については、[リソース](#)を参照して、学習コース、ビデオ、ドキュメントなどを検索してください。



ビンが選択されているサマリービューのタイムライン

4. ArcGIS AllSource の割り当て

ArcGIS AllSource は、ライセンス タイプとして単独使用ライセンスと指定ユーザー ライセンスを使用します。単独使用ライセンスは、デスクトップ コンピューターやラップトップ コンピューターなどの 2 台のコンピューターで ArcGIS AllSource を使用することを 1 人のユーザーに許可します。ただし、アプリケーションを 2 台のコンピューターで同時に使用することはできません。指定ユーザー ライセンスでは、認証情報を使用して ArcGIS AllSource にサイン インします。これらの認証情報 (ユーザー名とパスワード) は、ArcGIS Online 組織のメンバーシップから提供されます。[ArcGIS AllSource のライセンス認証](#)の詳細をご参照ください。



階層図レイアウトでノードが選択されているリンク チャート

5. ダウンロードとインストール

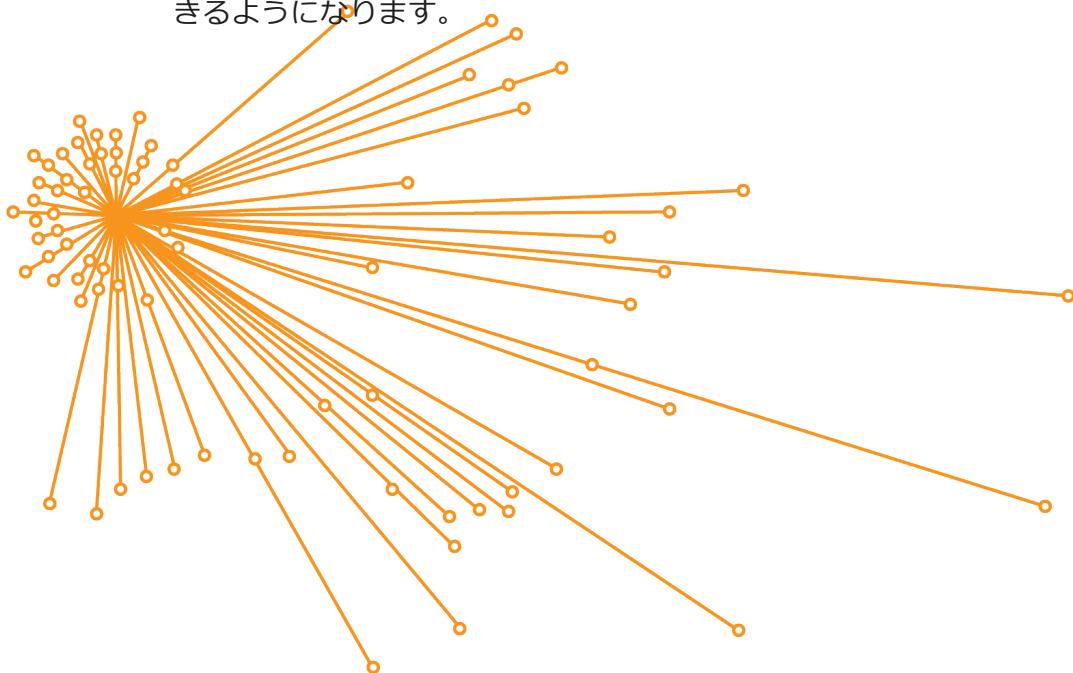
ArcGIS AllSource をチーム メンバーに割り当てると、組織の主な保守担当者は ArcGIS AllSource のダウンロードとインストールができるようになります。この担当者は、Esri カスタマー サービスとやり取りして、サブスクリプションを管理します。主な保守担当者が不明な場合や新しい担当者を指名したい場合は、Esri [カスタマー サービス](#)にお問い合わせください。主な保守担当者が決まったら、その担当者にこのセクションを共有してください。

[My Esri](#) から ArcGIS AllSource をダウンロードしてインストールする[手順を入手](#)してください。

メンバーによるソフトウェアのダウンロードの許可

セキュリティ上の理由と管理上の理由で、組織のメンバーはデフォルトで ArcGIS AllSource をダウンロードできません。管理者はダウンロード プロセスを管理できます。各メンバーがソフトウェアをダウンロードするのを許可することもできます。

Esri アクセスがすでに有効になっているので、メンバーは新しい ArcGIS Online 認証情報を使用して My Esri にアクセスできます。ただし、まだ **[組織]** タブで権限をリクエストする必要があります。これらのリクエストを承認すると、メンバーは ArcGIS AllSource をダウンロードできるようになります。



オーガニックレイアウトでノードが選択されているリンクチャート

6. ガイド付きの学習演習

ArcGIS AllSource の設定が完了したら、次はソフトウェアを使いこなせるようになります。管理者だけでなく、組織の全メンバーが対象になります。対象になると思われるメンバーにガイドのこのセクションを共有してください。

ArcGIS AllSource の使用開始

ArcGIS AllSource の使用開始には次のリソースが役立ちます。

- 基礎知識の習得: こちらの[ショート ビデオ](#)では ArcGIS AllSource とその主な機能の一部を紹介しています。最初の設定を進めていくなかで、データの追加、プロジェクトの作成、タイムラインの作成が身に付いていきます。
- 時空間データの操作: こちらの[記事とビデオのパス](#)に従って、時間対応データと移動解析について学習します。
- Learn ArcGIS レッスン: こちらの[Learn ArcGIS レッスン](#)では、同行者、同行者の待ち合わせ場所と移動の追跡方法について学習できます。

7. 参考資料

以下のリソースは、トラブルシューティング、質問への回答、他のトレーニング コースの検索に役立ちます。

- ガイド付き学習エクスペリエンスについては、[Learn ArcGIS](#) に無料レッスンが用意されています。[Esri トレーニング](#)にはさまざまな教育用リソースが用意されています。
- ニュース、学習資料、ビデオ、ドキュメントなどについては ArcGIS AllSource の[リソースページ](#)をご参照ください。
- [Esri コミュニティ](#)の ArcGIS AllSource コミュニティに参加してみてください。ここでは、ディスカッションに参加したり、ArcGIS AllSource ユーザーと Esri スタッフからなるさまざまなグループのブログ記事を読んだりすることができます。Esri チームが発信するニュースを確認するには、[ArcGIS ブログ](#)をフォローしてください。
- ぜひ[フィードバック](#)をお寄せください。いただいたフィードバックはツールとワークフローの改善に役立てさせていただきます。ArcGIS AllSource エクスペリエンスの改善に関するアイデアを遠慮なくお寄せください。
- ArcGIS AllSource [ヘルプ ドキュメント](#)はキーワードで検索可能であり、プログラム設定から個別のツールまで、すべての情報が格納されています。

FAQ

タイムラインとは何ですか？

タイムラインは、データの時間が時間軸のどの位置に当たるかを示すことで、マップ上のデータの空間ビューを補完します。タイムラインに沿ってデータをプロットすることで、時間的な順序を理解し、時間軸に沿って明らかになる傾向を見極めることができます。タイムラインの **[サマリー ビュー]** を使用することで、データをヒストグラムとして表示できます。ヒストグラムとは、数値データの分布を範囲に指定できる時間軸に沿ってデータを表したグラフです。タイムラインは、データの時間が時間軸のどの位置に当たるかを示すことで、マップ上のデータの空間ビューを補完し、時系列データの包括的なビューを提供してコンテキストをわかりやすくします。

リンク チャートとは何ですか？

リンク チャートは、データのエンティティ間のリレーションシップを視覚化したものです。リンク チャートにはノードとリンクという 2 つのコンポーネントがあります。ノードは、人や場所、物などのエンティティを表します。リンクはノード間のリレーションシップを表します。リンク チャートは非空間情報を表示することでマップ ビューを見やすくします。

ArcGIS AllSource で使用するプロジェクト ファイル タイプ 拡張子は何ですか？

ArcGIS AllSource ではプロジェクトでファイル拡張子として .asrx を使用します。

.asrx ファイルを ArcGIS Pro で開くことはできますか？

いいえ。ただし、ArcGIS AllSource の **[ArcGIS Pro で開く]** ツールを使用できます。ArcGIS AllSource と ArcGIS Pro の両方のデスクトップ アプリケーションがシステムにインストールされている場合、このツールでは現在の .asrx ファイルの名前が .aprx ファイルに変更され、選択したプロジェクトが開いた状態で ArcGIS Pro が起動します。

非接続環境でもサポートを受けるにはどうすればよいですか？

ArcGIS AllSource をインストールするとヘルプ ビューアーもインストールされます。ヘルプ ビューアーには Web ヘルプと同じドキュメントが含まれており、コマンドで検索できます。さらに、ヘルプ ビューアー全体でメモを残して特定のトピックをブックマークに登録できます。